

シルバー *Silver* しながわ

あけまして おめでとうございませう

本年も会員の皆様が元気でお仕事に励められますよう祈念いたします。



品川区指定有形民俗文化財
品川神社富士塚

所在地 品川区北品川三丁目七番五号(品川神社境内)
昭和五十五年十一月二十日(品川区指定)

富士塚は、富士信仰の集団「富士講」の中心が、富士山の遊歩所として、あるいは実際に富士山への登山ができない講員のために造った登山道である。

品川神社の富士塚は、明治二年(一八六九)北品川留の丸森講社の講中三百人によって造られた。神休分庫跡家で時移されたが、明治五年に再築し、大正十一年(一九二二)第一次関東震災の時現在地に移築された。江戸後期に盛んだった民間信仰を知る上で、たいせつな文化財である。

品川区指定有形民俗文化財
品川神社

品川区シルバー人材センター本部は北品川3丁目にあります。近くの品川神社には品川区指定の有形民俗文化財である富士塚があります。初詣などのついでに一度訪れてみてはいかがでしょうか。

新春を迎えて

品川区長 濱野 健



会員の皆様、明けましておめでとございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

品川区シルバー人材センターにおかれましては、都内でも有数の素晴らしい実績をあげており、皆様の日頃からのご努力に対し、心から敬意を表するものでございます。

さて、近年、少子高齢化に伴う労働力不足が叫ばれていますが、ここ数年は特に深刻な人材不足の状況が続いています。こうした中、地域で就労ニーズに応えるシルバー人材センターが果たす役割は、ますます大きいものになると期待しています。

また、品川区としても介護保険制度の改正に伴う、介護予防・日常生活支援総合事業の推進のために、高齢者の社会参加と地域における支え合いの新しい体制づくりを進めており、シルバー人材センターにもその一翼を担っていただきたいと考えております。

シルバー人材センターは、地域の高齢者に活躍の機会を提供できる団体であり、品川区といたしましても引き続き支援に努めてまいりますので、今後とも一層の充実を図っていただきたいと思います。

本年が会員の皆様にとりまして、幸多き一年でありますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

新しい年にあたって

会長 戸川 五郎



新年明けましておめでとうございます。

会員ならびにご家族の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から品川区シルバー人材センターの事業にご協力・ご支援いただきまして誠に有難うございます。

さて、近年、高齢化率は既に25%を超えて超高齢社会に入っております。こうした高齢化の進展する中、シルバー人材センターは「自主・自立」「共働・共助」の理念の下に、就業を促進し家族や地域社会に繋げていく、まさに時代の要請にこたえていく責務を負っていると云えます。

しかしながらセンターを取り巻く状況は、会員の減少、年々契約金額が減少しているなど大変厳しい状況にあり、特に労働者派遣法の関係で従来のように何でも請負契約で受任することが大変難しくなっております。

現在、こうした厳しい中でも、事務局の懸命の努力で何とか継続しておりますが、何よりも会員の皆様がそれぞれの就業現場で快くお仕事が続けられますように理事会、事務局が一体になってさらに尽力していきたいと考えております。

様々な課題はありますが、今年も一年が充実した年となるように、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りして、年頭のあいさつと致します。

上半期の執行状況について

事務局長 久保田 孝之

十月の理事会において上半期の事業報告と監査報告をしました。平成27年度の契約金額は、昨年度の民間の大口契約の解消などの影響により大幅減に落ち込むのではと危惧しておりましたが、現在のところ6億4千万と目標12億8千万の50%と順調に推移しております。会員数に対する就業実人員の割合である就業率も79・5%と引き続き高い数値にはなっておりますが、昨年と比較するとやや落ちていきます。

この間、東京労働局などからのご指導もあり労働者派遣法にかかる契約の適正化などでかつてのようにどんな仕事も請負うことは難しい状況になっておりますが、契約方法を見直したり、仕様書の工夫を図るなどで対応していきたいと考えております。下半期は民間部門の伸び率が鈍くなると言われておりますが、このまま順調に決算に到達できるように、さらに努めてまい

ります。一方、会員数については昨年度と比較して約48名の減と大変厳しい状況が続いております。事務局としても多様なPR方法を駆使して会員募集に努めておりますが、まだまだ減少傾向に歯止めをかけられない状況です。会員の皆様もご近所、お知り合いの方へ今一度声をかけるなど勧誘へのご支援をお願いいたします。

年間事業目標と上半期の執行状況

	27年度目標 (26年度実績)	27年度 上半期	目標との 達成率
1 会員数 (名)	2,700 (2,575)	2,527	—
2 受託件数 (件)	16,500 (17,354)	9,205	55.8%
3 契約金額 (万円)	128,000 (127,964)	64,516	50.4%
4 就業実人員 (名)	2,300 (2,201)	2,008	87.3%
5 就業延日人員 (日人)	304,000 (311,625)	159,327	—

筆耕班に今年の干支を書いてもらいました。

一般の方々から段々と文字を書くこと読むことが難しくなったり、億劫になつたりしているという声をよくお聞きします。

一方でそれをお仕事として活躍されている会員の方々がいらつしゃいます。

書き手が8人、事務方が2人の筆耕班です。賞状や宛名

書きを正確に綺麗な字で書くのは勿論ですが、レイアウトによって見栄えが全く違った物になるため、ミリ単位の調整を行い仕上げていくのはまさに職人技です。

是非、お子様、お孫様の結婚式の案内状の宛名書きや地域のイベントでの賞状書き等の際はご活用ください。



大井地区 駒林会員

安全標語が決まりました

安全管理委員会では、会員の事故防止を推進するため、安全標語の募集を行ったところ、一六三件の応募をいただきました。

12月14日(月)に選定会議が開かれ最優秀作品等が決まりました。

①テーマ私の安全行動

最優秀

危険予知 往きも帰りも 職場でも

大井西地区 松原 光一

優秀

安全はあなたと家族 守ります

荏原地区 板垣 正昭

忘れるな 安全心得 10ヶ条

大井西地区 大谷 光男

②テーマ事故0を目指して

最優秀

「危ないよ」 その一言が 危険予知

戸越地区 加藤 弘

優秀

仲間にも 一声かけて 事故0に

品川北地区 今井 恭子

無理せず 無視せず 油断せず

余裕を持って 安全作業

品川南地区 飯塚 享雄

優秀作品等には、表彰状と記念品が贈られ、応募者にも参加賞が贈られました。

平成二八年度は、この標語により安全就業を進めてまいります。

初めて安全集會を開催しました

安全管理委員会では、11月の安全就業強化月間の取組みとして、職群別の会議において事故0を目指して、「安全集會」を実施しました。

11月30日に品川第一区民集會所にて資源回収担当委員と安全管理委員の参加者は約100名。まず始めに全員で遠藤安全管理委員の指揮でつま先立ち体操を実施し、泉安全管理委員長の挨拶



当日採択された安全宣言

安全宣言
品川区シルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故0を目指す。
1. 事故予防のため、就業前につま先立ち体操を継続しよう。
1. 事故未然防止のために危険予知運動の徹底を図ろう。
1. 事故の情報共有し再発防止を徹底する。
平成27年11月30日
公益社団法人 品川区シルバー人材センター

撈のあと、久保田局長から、安全集會開催の意義、事故に遭わない、事故に巻き込まれないために、つま先立ち体操を続けることや危険予知運動の一つとして指差し唱和の有効性などについて講和がありました。

続いて岩澤副委員長からの安全宣言を全員で唱和し、安全就業に向けて全員が連帯して取り組んでいくことを確認し、最後に高橋副委員長の閉会の挨拶で、安全集會を終了。

会員の皆さんからは「事故0を目指して頑張ります」とのお声が多数ありました。

つま先立ち体操を二年間続けて!

荏原地区 安全管理委員 滝沢 勇
平成二六年七月に遠藤安全管理

理員と二名で自主的に転倒事故防止予防研修を受けました。

講師は東京都健康長寿医療センター 研究所の金憲経先生で、「高齢者に多発する転倒事故の要因は主に体力低下・疾病・服薬など多様であるが高齢者の転倒防止のためには運動、栄養、ヒッププロテクター装置などが挙げられ何れの手法も転倒抑制に効果的ではある」などの講義とともに受けたのが約一時間で下半身の太股と大腿部を鍛える「つま先立ち体操」でした。



つま先立ち体操を指導中の滝沢会員

現在、会議の始まる前などに会員の皆さんも実践している「つま先立ち体操」は二〇回で終わっています。研修ではつま先を思い切り伸ばし、これ以上伸びないと四回繰り返すなど大変ハードなもので、最

後には下半身の足の筋肉が痛くなりなりました。

金先生は、これを二年間毎日行つてつまずくようならば、苦情を言つて下さいとまで断言されました。私は金先生の進言のとおり真面目に二年間これを実行していますが、なるほど、つまずきは一切ありません。

始めて一年続けてみると、自分の体に変化がでてまいりました。まず、腰痛が良くなつてきました。

その次に気になつていた膝のがくがくが取れてきました。2年続けた結果、毎年の健康診断でお医者さんから褒められる項目が増えてきました。

是非、皆様も試してみてください。思わぬ身体の変化、生活に潤いが戻ってきますよ。もちろんつまずきなど全くありません。

危険予知(KY活動)の実践について

先日、当センターの植木班担当の会員さんが就業中の事故で、不幸にもお亡くなりになりました。ご家族の皆様にご心よりお悔み申し上げます。二度とこのような不幸な事故が起きない

ようセンター一同新たな決意で安全就業に向けて取り組んでいきます。

今回はKY活動の実践についてお話します。前号の「シルバーしながわ」でKY活動についてお話ししましたが、ではどのように実践すればいいのかに入ります。事故、災害の多くはヒューマンエラーが伴つております。これを防止するには一人ひとりが「自分は決して怪我をしない」「仲間からけが人を出さない」「そのためみんなで「こうやろう」「こうしよう」という実践活動をしていくことが職場の日々の安全衛生の確保につながっていきます。だからと言って、どんどん職場に安全衛生生活を押し付けてやらせる方法では自主的な活動を期待することはできません。対象となる人たちがそれぞれの職務において、それぞれの任務と役割と責任を果たすことが重要です。

また、KY活動も月に一度、半月に一度ではあまり効果は望めません。毎日毎日、さらには特別な対応が生じた時は、その直前にその日の行う業務の危険性について短時間でも話し合うことが必要です。危険と感じる感受性や一人ひとりの安全行動へのやる気も毎日の所要所行

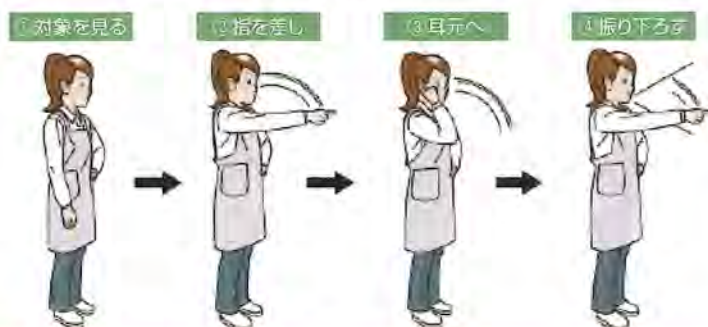
動によって高まります。この活動の手法の一つに「指さし呼称」や「指さし唱和」があります。

「指さし呼称」は、行動の所要所で、自分の確認すべきことを「○○○ヨシ」と確認対象に腕を伸ばしてしっかり指さし、はっきりとした声で呼称して確認することです。この有効性は、人間の心理的な欠陥に基づく誤判断、誤操作、誤作業を防ぎ、事故、災害を未然に防止するのに役立ちます。

とは言つても一人職場の会員さんや大きな声の出せない職場もあります。そういう場合は、これまで事故・災害のあった場所や仕事、手順を間違えたと事故に結びつきそうな仕事、業務が類似内容で間違いやすい仕事を確認の対象にします。そして確認の対象として自分自身の位置、姿勢、服装などの人間の確認、それから道具類、操作機器などの点検をすることです。しっかり確認することが大切です。から、声を出さずに手で触れて確認する、心の中で確認するなど状況にあった方法を工夫しましょう。いずれも先日配付しました「事故0を目指しましょう」のチラシの事故例を参考にしてください。

次に「指さし唱和」です。指さし

指さし呼称の方法



唱和は、全員でスローガン等の対象を指さし、唱和で確認することにより気合を一致させ、チームの一体感・連帯感を高める狙いがあります。一般に朝礼や就業開始時に「事故0を目指そう」などのスローガンを確認しあったり、実行を誓い合う時に用いられます。植木班、資源回収など数人で共同作業をする際に有効です。いずれも安全就業を目指して実践してみましよう。

新年地区全体会へのお誘い



開催日	地区	開催場所	開始時間	会費
1月11日(月)	中延地区	荏原第4地域センター	午前11時～	¥1,000-
1月20日(水)	戸越地区	中小企業センター	午前10時30分～	¥1,000-
1月23日(土)	品川南地区	品川第1地域センター	午前11時～	¥1,000-
	荏原地区	荏原第1地域センター	午前10時30分～	¥1,500-
1月24日(日)	大井東地区	東大井区民集会所	午前11時30分～	¥2,000-
	八潮地区	八潮地域センター	午前11時30分～	¥1,000-
	大井西地区	大井第3地域センター	午前11時30分～	¥1,000-
1月31日(日)	品川北地区	品川第1地域センター	午前11時～	¥1,000-
	大崎地区	大崎第1地域センター	午前12時～	¥1,500-
	大井地区	大井第3地域センター	午前11時～	¥1,000-



各地区のこれまでの歴史などを取り上げていきます。第2回

大井東地区のこれまでの歩み

大井東地区委員長 板垣 幸雄

大井東地区は、西側に京浜東北線大井町駅から大森駅、東側は京浜運河、真ん中を京浜急行の鮫洲駅から大森海岸駅と大へん交通の利便性が高いところであり、またこれに並行して第一京浜国道、旧東海道そして勝島の大井競馬場、緑豊かな品川区民公園など都会の中にも自然と娯楽施設が融合して魅力のある街になっています。その中の旧東海道沿いにはたくさんのお名所旧跡があります。

まず、大井町駅を出発すると、H元年に完成したきゅりあんを経由して大井公園に至ります。その中に土佐藩15代藩主で幕末の四賢侯として明治維新の先駆者として幕政に大きな影響を与えた山内容堂の墓があります。そこからさらに南下するとH14年に整備された勝島運河のしながわ花海道があり、地元の人や小学校の児童が花を育てています。こちらでは会員が土手や護岸の清掃に従事しています。

また、立会川駅前には、H22年に地域の有志によって、新しく若き坂本龍馬の勇壮な銅像が建立されています。龍馬が初めて江戸に来たころ、ペリーが浦賀に来航。土佐藩の一員として浜川砲台で警備をしていたと言われています。ところで、立会川の水源は目黒区の碑文谷池



本年11月に復元された浜川砲台

ですが、立会川自体は、今はほとんどふさがれ緑道公園になっています。さらに進むと、歌舞伎や講談でお馴染みの白井権八、天一坊、八百屋お七の処刑で有名な鈴ヶ森処刑場跡、H3年開館のしながわ水族館に到達します。このように大井東地区は、大変幅ひろい地域の中に300名の会員が所属していますが、かつてその中心には東大井支所が、S56・4からH11・8までシルバー人材センターの本部としてありました。徐々に会員が増えてきたので、八潮地区がH10・4に分離独立しました。

商店街、点在する工場、さらに進化する住宅街、多くの公的機関があり、その中でセンターの会員が一生懸命就業しています。地区の自慢の一つに各行事への参加率が高いというのがあります。地区全体会では豪華なお弁当や、マンドリンに合わせて参加者全員がなじみの歌を合唱することがすっかり定着して親睦と交流が続いています。

武蔵小山二番祭り 今年も参加しました

10月23日から3日間、センターでは、西川会員の絶大なるご協力のもと、ご自宅スペースをお借りして包丁研ぎを实施了ました。

今回、包丁研ぎをしてくれた会員さんは、長年包丁研ぎに携わっている柳澤会員と川崎会員、そして今年の8月に入会した平川会員の3人です。

平川会員からは「忙しくて大変だったが、慣れた仕事でもあり、楽しくできました。また、やりがいも感じた。」と感想を述べられました。

また、武蔵小山一番通り商業会様からご依頼を受けた交通案内係の会員さんなど多くの会員さんのご活躍により、3日間合わせて255本の包丁研ぎが、ご好評の上、無事に終わりました。



会員さん趣味のコーナー

『釣った魚で一杯!』

中延地区 池田光広 会員

家内と娘『このお刺身何ていう魚?』

私『あじ、いさぎ』

家内と娘『この焼き魚は?』

私『たかべ』

釣行後、いつもお世話になっている居酒屋『和』での一コマ。

釣りの始めは義父との溪流釣り。竿・餌箱・網等を持ち、川に着くと流れの中の石を裏返し、クロカワムシ、チヨロムシ等を探り、ウグイ・ヤマメ等を釣っていました。何年か経つと、いつも川魚ばかりだとの声があり、40数年より磯釣りに変更。主に南伊豆・入間・仲木の沖磯に渡船して、メジナ・イサキ等を釣っていました。帰りの車の運転がキツクなり、本当の理由はお酒を自由に飲めないからです。30数年前より伊豆七島の大島への釣行を始めました。元町港そばの民宿に中古の軽自動車を買って、大島の地磯で釣りを楽しんでいました。何年か通い、やっとシマアジが釣れるようになり、15年程前にホームグラウンドを利島に変更。キツカケは民宿のおばあさんからの『利島にはオオカミ(特に大型のシマアジ)がいるよ』との一声です。

やはり釣りは釣れないより釣れた方が、それも大物が釣れた方が楽しいですね!そして釣った魚を家族・友人と一杯飲みながら食べる。たまりませんね。

もう一つの楽しみは、前回釣行の反省を踏まえての仕掛け作りと、今度は必ずあの魚を釣ってやるというワクワク感。

あゝ早く釣りに行きたいな!



会員さん趣味のコーナー

『ボランティアで感謝の日々』

品川南地区 日暮忠雄 会員

私は日大藝術学部で作曲を学びました。その学費を稼ぐためレストランでリクエストにこたえてクラシック・ポピュラー歌謡曲などを演奏するアルバイトを続けました。

この経験を活かして、今では歌を通して、呼吸や発声法で健康になろうというサロン「八潮うたごえ広場」で歌唱指導をしています。毎月第三土曜日10時~12時こみゆにていぶらぎ八潮で高齢者の方なら無料で参加できます。

このメンバーとボランティアで高齢者や車イス・脳障害を持つ方々のいる施設に訪問し歌声を届けています。先だって訪問先での事。施設の皆さんと一時間程歌い終わった時に車イス利用の方から「アリガトウ」と、いつもの言葉を頂きました。

すると、施設のスタッフから驚いた顔つきで『今の方は入所して一年、今までア〜とかウ〜としか言わなかった人なのにすごい』と言われました。歌った曲は、夕やけこやけ、元氣だった幼い頃を思い出されたのでしょうか。この時ほどボランティアの活動をしていて本当に良かったと思えたことにはありません。

元氣づけに行っているつもりが、その逆で私自身、皆さんから感動や人生勉強をさせて頂く日々を送っております。



共助会旅行

たつぷりのんびり飛騨高山温泉、古い町並み、朝市、見学と世界遺産、白川郷を訪ねて

11月15日、16日の二泊二日、バス3台135名にて飛騨高山、白川郷を巡ってきました。

飛騨高山では江戸時代から変わらず保存されている「古い町並み」や「高山陣屋」の散策、活気あふれる「宮川朝市」でのお買い物を楽しみました。

白川郷では世界遺産に登録された合掌造りの集落を散策し、大自然の中で合掌造りの造形美に圧倒されました。

旅行に参加した会員さんは、身も心もリフレッシュして、新たな気持ちで品川に帰ってきました。お疲れ様でした。



シルバー成年式でのPR活動お疲れ様でした!

9月12日(土)「きゅりあん」において、品川区主催のシルバー成年式が行われました。シルバー成年式は、70歳の古希を迎えられた区民の方、約2,900人が対象で、約500名の方が来場し講演・記念撮影、しながわの味等を楽しまれ大変賑わいました。

シルバー人材センターでは毎年ブースを設置し懐かしのお菓子とセンター会員募集チラシを配付し、PR活動を行っています。成年式の対象になっている会員さんもらっしやいますが、会員の皆様もこれを機会にまた新たな気持ちで就業に元気で取り組んでいただきます。協力いただいた地区委員の方、ブースを飛び出してまで募集ちらしの配付を行っていただきありがとうございました。



仕事を通じて社会に貢献

会員総数

平成27年11月末日現在

2,552名

男 1,473名

女 1,079名

就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

1月14日(木) 午後1時～午後4時
本 部 本 多 理 事
荏原支部 門 馬 理 事

2月12日(木) 午後1時～午後4時
本 部 和 泉 理 事
荏原支部 伊 藤 理 事

3月10日(木) 午後1時～午後4時
本 部 伊 藤 理 事
荏原支部 門 馬 理 事

あとがき

今年、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピックの第三十一回大会と、パリンピックの第十五回大会が開催されます。

それにより次の東京がいよいよ本格的な準備を実行することになります。これまで力を入れてきた観光事業の振興策が、外国人観光客など予想以上の成果を挙げており、相乗効果が期待されています。自然災害による多大な損失がありましたので、その復興を速やかに進める為、この機会を有効に活用しなければなりません。昨年九月現在で六十五歳以上の現役就業者が七百万人に達して更に増加する傾向にあり、高齢化社会における労働力が既に質的転換が行われていることを示しています。このような社会情勢の変化にシルバー人材センターが、如何に対応していくかが今後の大きな課題となるでしょう。それには英知を集めて、これまでの高齢化社会から望ましい健康長寿社会へと、その実現を目指して進んで貢献していくことが重要ではないでしょうか。

(担当理事 佐藤 利行)